

(別記様式第 15 号)

令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	朝日村
------	-----

No.	事業項目	事業名
3	森林を支える豊かな地域づくり	令和 4 年度 朝日村 森林づくり推進支援金事業 森林整備事業
事業費		741,400円 (うち支援金: 674,000円)

事業目的

- (1) 地域の森林・林業の現状と課題 (別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)
- ・全体の 87%を山林が占める朝日村ではありますが、朝日林野警備連合会の所有者以外の立入りへの警備や鳥獣防護柵により、里と山の間には明確な線引きがされ、山林に親しむ事が困難になりつつあります。三俣沢には、野俣沢林間キャンプ場に併設された森林公園があり、森林に触れられる数少ない環境になっています。
- (2) 本事業の目的 ((1) の課題への対応方向について記載)
- 公園に接した森林の整備を行うことで、森林に触れあう環境を作り、自然環境の魅力向上を図る。

事業内容

- (別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)
- (1) 実施場所
- (2) 対象者 キャンプ場及び公園利用者
- (3) 実施方法 委託業者による整備の実施を計画。
複数年度継続実施による整備し、散策路(遊歩道)を中心とした森林の整備を行う。
- (4) 事業目標及び当年度事業量 全体計画 (令和 2 年～ 4 年度)
- 令和 2 年度 古見 7-1 散策路(遊歩道)に隣接した森林整備
令和 3 年度 古見 7-1 散策路(遊歩道)に隣接した森林整備
令和 4 年度 古見 7-1 散策路(遊歩道)に隣接した森林整備



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

- ・村内外の利用者に対し、森林体験できる場所を提供し、森林に親しめる環境整備を行う。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

- ・従前、環境保全林事業によって整備した森林であり、今後も朝日村の自然環境を体験できる場所として活用を予定している。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

- ・森林所有者ばかりではなく、森林体験利用者を対象とした啓発、推進ができ、また、一定数利用者の見込める森林を整備する事で、森林に触れ合う空間を作り、朝日村の自然環境の普及を推進します。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

- ・該当箇所について、豊かな自然環境には、陸棲ホタルの一種であるヒメボタル、ヒロバササユリが生息しており、これらの観察会や自然環境を活用した体験会、イベント等を計画していたが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、開催を見送った。
- ・今後も、体験会、観察会等を計画することで、森林に触れ合う空間づくりを通じて、朝日村の自然環境の普及推進をしたい。

(2) 課題

- ・体験会、観察会等の開催に向けて、陸生ホタルやササユリなどの性質に詳しい人材が必要である。今後は、勉強会などの人材育成も計画したい。
- ・また、子供が参加する整備の体験会は、刃物や火器の使用について理解が得づらい。危険性のあるものを使わせないのではなく、安全な使い方を大人が教える機会を設けていきたい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

- ・今後ともに、森林体験の普及するため事業継続を予定。

ただし、事業内容については、より森林に触れある空間を検討し、利用方法の提案を図り、実施したい。

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)